

平成 18 年 3 月 27 日

## 6 号機原子炉建屋における海水漏えいについて

当所 6 号機は定期検査中ですが、平成 18 年 3 月 25 日午後 0 時 25 分、原子炉建屋において、残留熱除去系 \* B 系（以下、「当該系統」）熱交換器室内で床への漏えいを示す警報が発生したため、運転員が現場を確認したところ、当該系統の海水系配管に設置された弁が点検のために取り外されており、その開放部から海水が漏えいしていることを確認しました。ただちに漏えい箇所の上流側にある弁を閉止し、漏えいは停止しました。

漏えいした海水（非放射性）の量は約 4,350 リットルであり、回収のうえ、拭き取りによる清掃を実施しました。

今後、原因を調査いたします。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

### \* 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却（燃料の崩壊熱の除去）や非常時に原子炉水を維持する系統。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、休日に発生した不適合事象を翌営業日に公表しているものです。